

第16回基本計画部会 議事概要

- 1 日 時 平成20年9月19日(金)14:00~16:10
- 2 場 所 中央合同庁舎第4号館 共用第1特別会議室
- 3 出 席 者

【委員等】

竹内部会長、大守部会長代理、阿藤委員、井伊委員、出口委員、野村委員、廣松委員、舟岡委員、門間委員、吉川委員、黒田臨時委員

【統計委員会運営規則第6条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長》

内閣府経済社会総合研究所長、内閣府経済社会総合研究所次長、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、財務省関税局調査課長、文部科学省生涯学習政策局調査企画課長、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省経済産業政策局調査統計部長、国土交通省総合政策局情報管理部長、環境省総合環境政策局環境計画課企画調査室長、日本銀行調査統計局審議役(統計担当) 東京都総務局統計部長

【事務局】

中島内閣府大臣官房統計委員会担当室長

中田総務省政策統括官(統計基準担当) 北田総務省統計企画管理官

4 議事次第

- (1) 基本計画に関する中間報告(案)について
- (2) その他

5 議事概要

- (1) 基本計画に関する中間報告(案)について

中島統計委員会担当室長から、資料1に基づき、基本計画に関する中間報告(案)の説明の後、意見交換が行われた。各委員等の主な意見は次のとおり。

《「はじめに」及び「第1 公的統計の整備に関する施策についての基本的な方針」部分関係》

- ・ 「調査票情報(統計データ)」との表現があるが、「調査票情報」と「統計データ」の用語について、全体に整理が必要ではないか。
- ・ 現状の日本の統計が、国際的な水準からみて様々な意味で後れをとっており、この後れを取り戻すことが大きな課題であることを盛り込むべき。
- ・ 3(4)のリソースの留意点の第二に関して、読み方によっては、予算等の削減については、これ

までは対応できていたが、更に削減が続くと厳しくなると言うようにも読める。現状でも国際的な水準からも不足している面がかなりあるので、例えば「対応がより一層困難になる」といったニュアンスを盛り込む方が望ましい。

- ・ リソースの問題については、量的な意味だけでなく、質的な拡充も必要であることも盛り込むべき。そうすることで、学界や国際機関との連携の必要性も見えてくる。
- ・ リソースの問題については、国際的なレベルからみても満足であるのか、不満足であるのか、委員会として合意が必要ではないか。これまでの議論を踏まえると、現状のリソースでは不満足であり、別表にあるような具体的な措置を実施するためには、現状のリソースを拡充すべきというメッセージを出す方がよいと思う。
- ・ リソースが国際的にみても不足しているという客観的なデータを示すべき。また、統計の劣化についても分かりやすい事例があれば付属資料として示すべき。
- ・ 匿名データの作成・提供やデータアーカイブなど、新たに実施すべき課題については、予算・人員が必要なことはセールスポイントになる。
- ・ リソースについては、理想的な姿を描いても実現性がないからという理由で書かないのは基本計画のスタンスとして良くないのではないか。実現性は低くとしても、理想的な姿を描いて、それを言い続けることが、結果として理想に一步でも近づくことになるのではないか。
- ・ 基本計画が5年～10年のスパンであることを考えると、統計の作成、情報の収集、公表に関わるシステムとして、情報通信技術をどのように活用していくのかを記載すべき。
- ・ 情報通信技術の活用については、実現可能性の問題もあり、中間報告案では、5(2)の「研究開発の推進」に集約されているが、その方向性のビジョンについては、可能であれば打ち出せないか。
- ・ 統計整備に際しては、政府の努力のみならず、国民の理解と協力が不可欠であることをどこかに記載すべき。

《「第2 公的統計の整備に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策」部分関係》

- ・ 1(3)「国勢統計、国民経済計算、経済構造統計の重要性」について、経済センサス、ビジネスレジスター及び個別の年次統計がどのような形で結びついているのかを一般論として書き、その上で、経済センサスの(21、23年調査等)の具体的な姿をもう少し踏み込んで書くべき。また、基本的な構造統計、年次の構造統計、動態統計をどのように整備するのか、まだ十分な議論がされていないが、そういう問題意識についてならば書いても良いのではないか。
- ・ 国勢統計については、地域別の詳細な人口の把握が可能であることや将来推計人口の基礎資料となるなど、行政運営上も非常に重要であり、調査環境は悪化しているものの、現状では、これに変わる代替的なものがないことから、もう少し重要性を記載すべき。
- ・ 基幹統計として法定されている国勢調査や国民経済計算についても、重要性を記載すべき。
- ・ 2(3)「福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備」については、社会保障の問題が国民の大きな関心事になっていること等、なぜ今、福祉・社会保障全般を示す統計が重要であるかの記述を追加すべき。
- ・ 2(4)「医療費に関する統計の国際比較性の向上」について、医療費の問題が高齢化に伴って国民の強い関心事になっていること等、なぜ今、医療費に関する統計が重要であるかの記述を追加すべき。

- ・ グローバル化の進展に関する統計の整備については、経済の話だけではなく、出入国なども含めた上で、一つの項立てにしてはどうか。

《第3 公的統計の整備を推進するために必要な事項》部分関係》

- ・ 1(3)イの「取組の方向性」について、統計教育の充実に関しては、小中学校だけでなく、高校・大学についても記述すべき。
- ・ 2(1)アの「現状・課題等」については、リソースの国際比較のデータや第三者機関の指摘等について、可能であれば補強すべき。
- ・ 日本の統計の予算・人員が国際的にみても少ないことは、見方によれば、日本は諸外国に比べ生産性が高いという現状を肯定するような捉え方をされる危険性もある。むしろ、国際比較と同時に、リソースの減によって統計が劣化していることや国際的水準からみてもやるべき事ができていないことも記載すべき。
- ・ 2(1)イの「取組の方向性」については、各府省に対するリソースの確保の要請のようにしているが、統計委員会が司令塔機能の中核を成す組織であることを踏まえて、表現の工夫が必要ではないか。
- ・ リソースの拡充や統計整備の必要性については、どれだけ世論を喚起できるかにかかっている。いかに日本の統計のレベルが国際的にみても低いのかをエビデンスをもって示すことが必要。
- ・ 2(3)イの「取組の方向性」については、中核的職員を海外に出せないほど厳しい状況に置かれているというニュアンスが伝わるような表現の工夫が必要ではないか。
- ・ 地方分権改革推進委員会から出された中間報告について言うと、統計委員会は、統計の立場として、統計を良くするという観点から何が言えるかについて考えた上で、言うべきことがあるのであれば記載すべき。少なくとも統計作成に関しては、原理主義的に民間委託することは適当でない。また、独立行政法人化については、その考え方がどうして出てきたのかについての説明がないと判断できない。
- ・ 独立行政法人化の話については、国の出先機関の見直しの議論の中で、統計調査の実施に関しては、専門性を有していることなどから、各府省がばらばらで行うのではなく、将来的には横断的組織を考えていく必要もあるのではないかということから、1つのアイデアとして出ていると認識している。また、地方分権改革推進委員会の議論の中では、統計は専門的知識を必要とされているので、統計委員会の議論を尊重すべきとされている。
- ・ 統計がこの数年でどうなってきたのかについて、エビデンスを踏まえ検証しないと水掛け論で終わってしまう。具体的な事例を議論して、共通認識として由々しき問題があれば統計委員会として言うべき。
- ・ 実査体制については、まだ具体の話が見えない部分があるので、地方分権改革推進委員会から具体的な話が出てきた段階で、統計委員会としてメンションする必要があるかどうかを考えるべきではないか。今の時点では、具体的なメンションをすべきではない。

《別表関係》

- ・ 別表の実施時期について、「検討の結論を平成25年度末まで得る」となっているものがいくつかみられるが遅いのではないか。基本的には今回の基本計画の期間内にアクションをとるべきではないか。

- ・ 実施時期については、ワーキンググループでは、ある程度プライオリティ付けをした上で判断している。全ての事項を速やかに実施するのが理想であるが、今のリソースでは不可能であり、全体のバランスの中で実現可能性を考える必要がある。
- ・ 別表の1(3)イの「非協力者への対処方針」については、実施時期が平成 年度までとなっている。非協力者への対処は、デリケートで難しい問題であることは理解しているが、時間をかけていい答えが出るものでなければ、リーズナブルな範囲で、できるだけ早く決める方が望ましい。

以上の議論を踏まえ、中間報告(案)に対する修文意見については、9月29日までに事務局に提出することとされ、所要の修正を行い、次回再度検討することとなった。

(2) その他

今回は、基本計画部会の単独開催として、平成20年10月6日(月)15:00から開催することとなった。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>